

要 望 書

私たちの南信州（飯田下伊那）地域は、香川県に匹敵する約 2,000 km²の中山間地域に 14 市町村が展開し、約 17 万の人々が暮らしています。古来、東西・南北の交通が交差する地域であることから、他地域の文化を積極的に取り入れながら、飯田市を中心に特徴ある独立した生活文化圏を形成して参りました。

そのため、行政運営においては、早くから広域行政を進めて来ておりますが、平成 11 年に南信州広域連合を結成し、時には 14 市町村が結束して共通する地域課題の解決に当たり、時には各市町村がそれぞれの特徴を活かし役割を分担して機能保持を図るなどして、地域全体の一体的な発展に努めております。

中央新幹線に関しましても、本広域連合はリニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会の中核として、「早期実現」と「飯田駅設置」のために活動を重ねて参りました。特に、国土交通省交通政策審議会小委員会で論議が始まった昨年におきましては、リニア中央新幹線飯田駅（仮称）を見据えた地域づくりを進めるため、広く有識者や地域住民が参画する委員会を組織し、延べ 22 回に及ぶ議論を積み重ねる中で、11 月に「リニア将来ビジョン」を策定しました。

その過程において、14 市町村長と広域連合議会においてリニア飯田駅（仮称）のあり方や設置場所等についても議論を重ねて集約したところであり、その結果をリニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会総会へ提案し、「リニア飯田駅（仮称）は、現 JR 飯田駅へ併設する」ことが満場一致で採択されております。

本広域連合と致しましては、「リニア将来ビジョン」を基に、14 市町村が協力して一体的な地域づくりを進めることを決議としており、当地域を通ることになりましたリニア中央新幹線の事業推進やリニア飯田駅（仮称）設置についても、広域連合として一体的に関わっていくこととしております。

以上のことから、特に下記の事項について、改めて要望いたします。

記

1 リニア飯田駅（仮称）の設置は、現 JR 飯田駅への併設をお願いします。

南信州広域連合及び南信州広域連合議会において論議を重ねた結果、両組織の総意として、リニア中央新幹線飯田駅（仮称）を現 JR 飯田駅へ併設することを決定しております。

東海旅客鉄道株式会社におかれては、リニア中央新幹線の建設事業を円滑に推進するためにも、この決定を尊重し、採用されますようお願いします。

2 計画の推進にあたっては、沿線地域の意見が十分反映されるよう協議を行い、誠実に対応していただくようお願いいたします。

沿線地域の地域づくり・まちづくりの指針や意見が十分反映された社会基盤整備の在り方で協議を進め、貴社と沿線地域が、それぞれの実情にあった役割分担で計画を推進していただくようお願いしたい。

平成23年6月9日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 山 田 佳 臣 様

南 信 州 広 域 連 合
広域連合長 牧 野 光 朗

南信州広域連合議会
議 長 上 澤 義 一

□南信州広域連合構成市町村

飯 田 市
松 川 町
高 森 町
阿 南 町
阿 智 村
平 谷 村
根 羽 村
下 條 村
売 木 村
天 龍 村
泰 阜 村
喬 木 村
豊 丘 村
大 鹿 村